

Pick UP INTERNET MOVEMENT

ニュースな数字から見える11月のインターネット

225298 テラビットメートル/秒

TCPの長距離高速通信実験で成功した世界最高速度

11月15日に東京大学とWIDEプロジェクトの研究者が、日本やカナダ、米国、オランダとCERN研究所(スイス・ジュネーブ)の研究者と協力して、TCPによる高速通信実験を実施した。米国ピッツバーグを起点にして日本経由でスイスのジュネーブまで世界最長の10ギガビット回線を構築し、ピッツバーグのSC2004国際会議会場とCERN研究所の両地点に設置した東京大学が開発した計算機を接続した。このネットワークの全長は約3万1248kmもの超長距離で、1個のTCPストリームだけをもちいて通信し、72.21Gbpsものデータ転送速度を実現した。これは単純計算で1枚のDVDを約5.5秒で送信できる速さだ。

103 万人

Googleニュース日本版の訪問者数

9月1日から開始された「Googleニュース日本版」への最初の1か月間の家庭からの訪問者数が103万人だったことが、ネットレイティングスの調査でわかった。これは米国の313万人に次ぐ水準。さらに、9月の全インターネット利用者に対する利用率は2.8%で、米国の2.3%を上回った。記事リンクからの流入が一番多かったのは日本経済新聞で、Googleニュース利用者の13%が訪問した。次いで朝日新聞、日刊スポーツ、デイリースポーツの順番。また、河北新報の9月の全訪問者22.4万人のうち21%が、ロイターの同15.7万人のうち36%がGoogleニュースからの訪問者で、両サイトのアクセス数を大きく押し上げた。

15 Mbps

高速列車からの無線LAN接続実験で成功した最高速度

日本テレコムはJR北海道と協力して、JR千歳線の札幌駅から新千歳空港駅までの一部区間で列車内と沿線地上間を無線LAN(IEEE802.11g)で接続するフィールド検証を行った。その結果、時速120km以上の列車走行時でもウェブサイトの閲覧やIP電話による通話、運転席スペースに設置したカメラからの映像モニタリングなどが快適に実施でき、実効伝送速度が最大約15Mbpsを記録したと言う。実験室内では時速500kmの高速移動体でも15Mbps以上の速度を確保する検証を進めている。飛行機でのインターネット利用が進む中、新幹線や在来線でのブロードバンド接続サービスも実現にまた一歩近づいた。

1 万店舗

「楽天市場」の出店数

日本最大のインターネットショッピングモール「楽天市場」の出店数が10月28日に1万店を突破した。楽天市場は1997年5月にわずか13店舗でスタートしたので、7年6か月かかって1万店を突破したことになる。なお、5000店を突破したのは2001年2月だった。単純にこの7年強の期間で見ると、年間およそ1400店の出店ペースになる。振り返ると、2002年4月には取扱高に応じて一定割合を課す新料金体系を導入し、これに対する出店者らの反発から一時出店ペースが鈍化したものの、システム投資やマーケティング活動の強化などが奏効し、再び順調なペースを取り戻した。野球効果でさらに上を目指すが、.....。

楽天新球団が誕生しソフトバンクもダイエーホークス買収最終合意へ 勝ち組インターネット企業の「野球進出」 絶大な広告効果はどう活かす

Baseball

マスコミの大方の予想どおりとっていいだろう。新球団設立によるプロ野球への新規参入が楽天に軍配があがったのは、すでに報道のとおりである。これに前後して、ソフトバンクのダイエーホークスの買収話も持ち上がり、執筆時点(2004年11月15日)ではそれもほぼ合意に達している。さらには、コクドが西部ライオンズの売却をUSENに打診するという報道もあり、「インターネット企業 球界参入」の構図が一層クローズアップされるようになった。インターネット企業を中心とした野球騒動はまだまだ終わらないようだ。

では、プロ野球はネット界に何をもたらしたのか? 少し振り返って考えてみたい。

プロ野球シーズン真最中の2004年6月に突然明らかにされた近鉄とオリックスの合併交渉。そして同6月30日にその近鉄買収に名乗りを上げたのがライブドアだった。同社による近鉄買収は破談になるも、新球団設立によるプロ野球への新規参入の活路を見出すと、9月には楽天がプロ野球への参入を表明した。知名度の低い2社が球界参入を表明したことから、逆に世間の注目を集めることとなった。事実、ネットレイティングスの調査では6月まで200万人程度だったライブドアのサイトの月間訪問者数は、近鉄買収に名乗りを上げた6月から続々と増え、8月には513万人を記録したという。

株価で明暗を分けたライブドアと楽天

来期の球界参入はライブドアと競い合った結果、楽天となったが、果たして楽天だけが成功を収めたのだろうか?

「今回の騒動でプロ野球は今までにないほど盛り上がりを見せている。プロ野球人気も戻り、球団を得た企業は十分な広告効果を得られるのではないかと」J.P.モルガン証券会社シニアアナリストの木村健太郎氏は分析する。「一連の報道で楽天、ライブドアの知名度は大きく上昇した。特に地方での知名度の上昇はめざましい」と指

摘する。しかし、株価を見ると、ライブドアは参入を表明した6月時点では上昇したものの、その後は下降を続けている。これについて同氏は「野球の話題で知名度が上がった結果、マスコミにより投資家が買い控えるようなネガティブな情報が流れたため」と分析。一方、楽天の株価の上昇は「知名度が上がった結果、主力のECを中心に利用者が増加し、良好な業績を納めたため」と見る。株価に関しては両者の明暗が分かれるかたちとなった。

「野球効果」の集客をどう活かすか

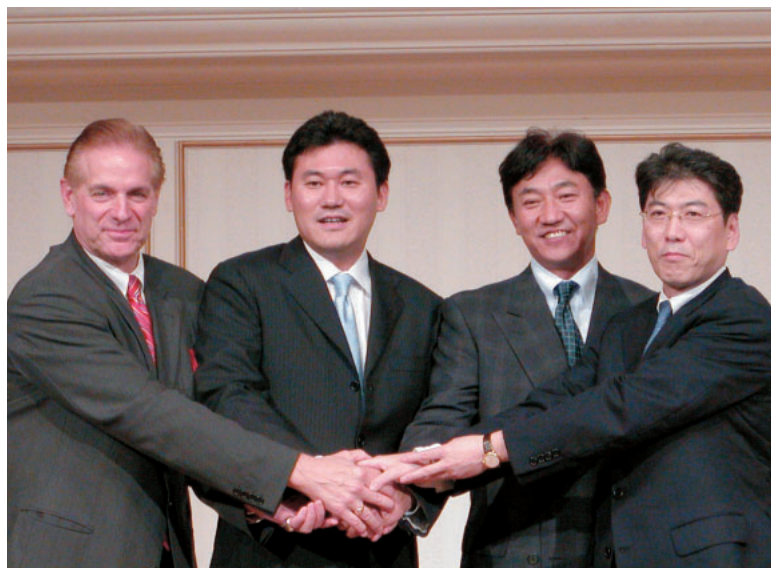
前述のとおり、ライブドアの訪問者数は球騒動で大きく増加した。一方の楽天は、楽天側の発表によれば、球界参入表明以前では1日あたり85万だったページビューが、参入表明後に99万と躍進している。そして、参入決定直後では150万にも上ったという。もちろん、この数字には「プロ野球参入決定記念セール」の実施分も含まれている。また、楽天が11月11日に発表した第3四半期の連結決算では、売上高が110億7,000万円(前年同期比162.8%増)、営業

利益が33億2,000万円(同209.2%増)であった。ただいま絶好調というわけである。同社では球団運営は20億円ほどの赤字となるとしながらも、広告効果が120億~350億円になると試算している。

半年前にはインターネットユーザー以外には知らなかったライブドアと楽天というインターネット企業が、どちらも広告費を大きくかけることなく絶大な知名度を得たという意味では、一連のプロ野球参入表明は成功を収めたといえる。だが、今後は知名度が高まったことでサイトに集まる新規ユーザーをどのようにビジネスに結び付けていくかが鍵となる。

ライブドア、ブログをはじめとするポータル各種コンテンツに取り込むことを目標としているが、これが収益に直結することに疑問視する声もある。一方の楽天は事業の好業績を見る限り、野球との相乗効果が認められるものの、プロ野球開幕後、これがどこまで持続するかが正念場である。

リアルな事業であるスポーツとバーチャルなインターネット事業との蜜月は、まだまだ不透明だと言えるだろう。



楽天ゴールデンイーグルスの入団発表の席で。左からGMのキーナート氏、三木谷社長、田尾監督、顧問の井上氏。

本人確認の義務づけや書式の規定でトラブルを防止 gTLDドメイン名の登録レジストラ変更処理 統一手続きをICANNが施行

日本語参考情報 <http://www.nic.ad.jp/ja/dom/gtld-policy/transfer.html>

ICANNは、「.com」「.net」「.org」「.biz」「.info」などgTLDドメイン名のレジストラ(登録業者)変更に関して2004年7月に発表していた新ポリシーを施行した。新ポリシーは、11月12日以降に行われるすべてのgTLDのレジストラ変更に応用される。

これまで、ドメイン名を登録しているレジストラを変更する場合の手続きが明確でなかったため、第三者が不正にレジストラを変更する問題が生じたり、移行前のレジストラが処理を不当に妨げているとの批判が出たりしていたため、ICANNが2001年から検討を進めていたものが実現した形だ。

新ポリシーでは、レジストラ変更に関して登録者、レジストラ、レジストラドメイン名データベース管理者)がとる手続きを明文化し

て規定している。

新ポリシーでは、トラブルや不正を防止する新しい仕組みとして、レジストラ変更の意思確認では標準書式を使うことや、登録者の本人確認をすることなどを定めている。本人確認には、電子的な連絡では電子署名や電子メールアドレスを使い、郵便などでの連絡ではパスポートや運転免許証などを使うとしている。

さらに、レジストリとレジストラがドメイン登録情報をやりとりするプロトコル「EPP」を採用している「.org」「.biz」「.info」などのgTLDの場合は、登録者が正しい認証コード(AuthInfo Code)を提出して変更要請の真正性を証明することや、連絡担当者をドメインの登録者またはWhoisに記載されて

いる管理担当者に限ることなども規定している。

レジストリからの変更要請に対して5日以内に変更前のレジストラが返答しなかった場合は変更を承認したものとみなされ、変更要請を拒否できるのはポリシーで定められたいくつかの条件に合致する場合のみであるなど、レジストラの変更がよりスムーズになるようにも定められている。拒否できる条件としては、不正行為の痕跡がある場合、ポリシーで定められたいくつかの条件に該当する登録料金が未払いである場合、初期登録から60日以内である場合など9項目が明示されている。

新ポリシーには、レジストラ変更に関する紛争処理手続きの方針も含まれている。

最初の導入路線は東京 - 上海線と東京 - ロンドン線 ANAとJALが飛行中の旅客機からの インターネット接続サービスを開始

全日空(ANA)は11月15日から、飛行中の旅客機内からインターネットに接続できるサービス「ANA@AIR」[URL01](#)を開始した。導入したのは東京 - 上海線で、2005年度からは欧米路線にも拡大していく予定。

料金は、従量制の場合は最初の30分が7.95ドルで、その後は1分ごとに0.25ドル。定額制の場合は14.95ドルとなっている。ファーストクラスだけでなく、エコノミークラスを含む全クラスで利用できる。接続は有線LANと無線LAN(802.11b)とも可能だ。

また日本航空インターナショナル(JAL)も、12月9日より同種のサービス「JAL SkyOnline」[URL02](#)を東京 - ロンドン線を開始する。料金は従量制の場合は最初の30分が9.95ドルで、その後は1分ごとに0.25

ドル。定額制の場合は29.95ドルとなる。

両サービスとも、米ボーイング社が運営する「Connexion by Boeing」[URL03](#)をシステムに採用している。これは、航空機に専用アンテナを搭載し、静止衛星を利用して



ANAは成田 - 上海線から導入。システム的には通常のプロバイダーで接続するのと変わらないため、ウェブの閲覧やメールの送受信も問題なく、VPN接続も可能だという。

通信するもので、独ルフトハンザ航空で試験的に導入されていた。

[URL01](http://www.ana.co.jp/int_svc/promotion/cbb/) http://www.ana.co.jp/int_svc/promotion/cbb/

[URL02](https://rgst.jal.co.jp/inflight/internet/) <https://rgst.jal.co.jp/inflight/internet/>

[URL03](http://www.connexionbyboeing.com/) <http://www.connexionbyboeing.com/>



JALは、フライト時間が長く需要の多いと思われる東京 - ロンドン線から開始。Connexion by Boeingは静止衛星を利用しており、高速な通信が可能だという。

1200以上の応募から選ばれたユーザーサイドのオンラインショップ 今年も個人や中小企業の躍進が目立つ ～ EC研究会「日本オンラインショッピング大賞」

Award

URL <http://ecken.jp/>

NPO団体のEC研究会は11月6日、第8回「日本オンラインショッピング大賞」と2004年に新設された「日本ブロードバンドビジネス大賞」、そしてECサイト評論家の故・三石玲子氏を追悼して設立された「三石玲子賞」をそれぞれ発表した。

日本オンラインショッピング大賞は日本の企業と個人の間の電子商取引(BtoC)の健全な発展に寄与するECサイトを表彰する賞だ。「今年を受賞者の中に有限会社が4社入

っている。大手企業に負けずネット上でビジネスを展開しているのは非常に嬉しい」とEC研究会代表幹事の土屋氏は語る。

今年の大賞には女性ファッション商品を中心としたオンラインショップ「マガシーク」が選ばれた。「ファッション誌に掲載された商品をオンラインですぐに購入できるという、女性の心をつかんだことがサイトの成功につながった」と、年間20億円の売り上げを誇るマガシーク代表の井上直也氏は受賞後に

語った。

同時に発表された日本ブロードビジネス大賞では千趣会など個人を含む8団体が選ばれ、三井玲子賞・ネット公共知財賞には著作権が切れた文学作品を無料で公開している青空文庫が選ばれた。



大賞を受賞したオンラインショッピングサイトの「マガシーク」。

日本オンラインショッピング大賞

賞名	受賞者	サイト名	URL
OLS大賞グランプリ	マガシーク	マガシーク	http://www.magaseek.com/
日本ブロードバンドビジネス大賞			
販売実績部門・金獅子賞	千趣会	ベルメゾンネット	http://www.bellne.com/
ブランディング部門・金獅子賞	ネスレコンフェクショナリー	ブレイクタウン	http://www.breaktown.com/
三石玲子賞			
奨励賞部門・ネット公共知財賞	青空文庫・ポイジャー	青空文庫	http://www.aozora.gr.jp/

オープンソースブラウザはインターネットエクスプローラに勝てるか 待望の(?)Firefoxバージョン1.0が正式公開 ユーザーコミュニティも盛り上がる

Browser

Mozilla Foundationは11月9日に、オープンソースのウェブブラウザとして開発された「Firefox」の正式公開版となるバージョン1.0を公開した。英語版や日本語版を初めとする20もの言語と、ウィンドウズ、Mac OS X、Linuxなど幅広いプラットフォームに対応している。さる10月27日に公開されたプレビューバージョンと、正式公開版ではとくに機能面での変更はないが、インストール時に設定される標準のスタートページが、Firefox専用デザインされたグーグルの検索ページとなっている点が目新しい。

正式版の公開直後からユーザーによる普及活動が高まり、有志によるまとめサイトが作られたり、開発者コミュニティー

である「もじら組」のフォーラムで盛んなやりとりが交わされたりしているほか、オンラインソフトのライブラリーを運営する株式会社ベクターがFirefoxユーザーのためのコミュニティサイト「Firefoxファンクラブ」を設置して、使用方法やプラグインの情報などを紹介している。

また、AOLからはFirefoxをベースにしたNetscapeブラウザが公開される予定があるという。Netscapeのサイトに設置されたレビュー用フォーラムに11月15日に「The Netscape Browser Team」名義で投稿されたコメントによれば、11月30日からプロトタイプのパベータテストを開始するとされている。

URL01 <http://www.mozilla-japan.org/>

URL02 <http://www.mozilla.gr.jp/>

URL03 <http://firefox.vector.co.jp/>



Firefox 1.0の画面。標準のスタートページはFirefox専用デザインされたグーグルの検索ページ。

バージョンアップと同時に「RoboDemo」から名称変更 Macromedia Captivateが12月3日に発売 ソフトのデモムービーを簡単に作成可能

URL <http://www.macromedia.com/jp/software/captivate/>

マクロメディアは、Flashによるソフトウェアのデモンストレーション作成ツール「Macromedia Captivate日本語版」を12月3日に発売する。Captivateは、前バージョンまでは「RoboDemo」という名称で販売されていたが、今回発売する新バージョンからCaptivateに名称が変更された。価格はパッケージ版 / ダウンロード版ともに75,600円、アップグレード版が37,800円、エデュケーション版が29,400円となっている。

Captivateは、アプリケーションなどの操作を自動的に記録して、デモ用のムービーを作成できるツール。ムービーはFlashや実行可能ファイルとして保存できる。また、デモも単に手順を見せるだけのものではなく、あとからメッセージを挿入したり、音声

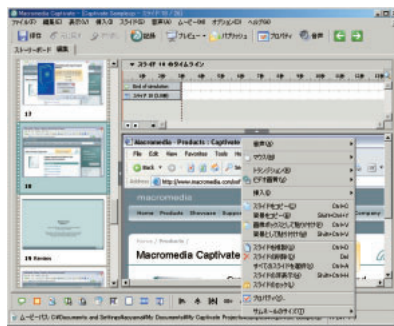
を追加したりするなどの編集もでき、ユーザーに操作を求めるインタラクティブな教育用コンテンツを作る。普通にアプリケーションを操作するだけで、誰にでも高度なデモが作成できるため、企業内のeラーニングや、ソフトウェアベンダーによるオンラ

インマニュアルの作成などに広く使われている。

新バージョンでは、編集画面にタイムラインを採用したり、編集を加えたスライドのプレビューが素早くできるようになったりと、より完成度が高められている。



Captivateのパッケージ。イメージカラーが以前の紫から、エメラルドグリーンに変更された。



ムービーの編集画面。タイムライン形式を採用したことで、視覚的にスライドの表示タイミングを調整できる。

固定IPが1つなら最短で即日発行が可能に ぷららが法人向けサービスをリニューアル 一部サービスの料金値下げも実施

URL <http://biz.plala.or.jp/>

インターネットプロバイダーのぷららは法人向けサービスの「BUSINESSぷらら」を大幅にリニューアルする。

今まで契約の際には必要書類に押印のうえで郵送して手続きを行っていたが、オンラインサインアップの機能を追加し、必要事項をホームページ上で入力して送信するだけでサービスの利用手続きができるようになる。ただし新規入会の場合は後日書類の郵送が必要だ。

契約コースに関してはすべての接続コースで使われていた「ビジネスセット」の名称が廃止になり「BフレッツL」「フレッツ・ADSL」「フレッツ・ISDN」「ダイヤルアップ」のそれぞれに対応したコース名称となる。月額1,850円で提供されていたサービスの

利用料金も月払いで50円値下げされる。

固定IPアドレスの提供方式も変更となり、各接続コースのオプションとして扱われる。また、オンラインサインアップが可能となったことで、IP(固定IPアドレス1個利用メニュー)を利用する場合は、当日午前中に申し込みれば最短即日で固定IPが発行可能となる。当日中のIP発行は業界最速。

さらにオプションサービスの拡張も行われる。「フレッツ・ADSL」または「Bフレッツ」対応接続サービスを申し込みの場合、「0A0～J」番号のIP電話「ビジネスぷららフォン for フレッツ」の利用に必要なIDが1つ与えられる(毎月の利用料は別途必要)。また1接続サービスにつき1つメールアドレスが無料で提供される。教育機関向けに提供されて

いたフィルタリングサービスも法人向けに提供を開始する。

また、割引サービス「オフィスパック」の適用範囲も拡大される。

新サービス体系への移行は12月1日から。

固定IP1	Bフレッツファミリー対応コース Bフレッツベーシック対応コース Bフレッツビジネス対応コース フレッツADSL対応コース フレッツADSLビジネスタイプ対応コース
固定IP8	Bフレッツマンション対応コース Bフレッツファミリー対応コース Bフレッツベーシック対応コース Bフレッツビジネス対応コース フレッツADSL対応コース フレッツADSLビジネスタイプ対応コース
固定IP16	Bフレッツベーシック対応コース Bフレッツビジネス対応コース フレッツADSL対応コース フレッツADSLビジネスタイプ対応コース

固定IPがオプションとして利用可能なサービス

ユーザーの行動を丸裸に!

インターネット広告の費用対効果を測定する オプトの「アドプラン」に業界初の新機能

Advertise

URL <http://www.opt.ne.jp/>

オプトは11月11日、インターネット広告の費用対効果(ROI)を測定するASPサービス「アドプラン」にネット広告の誘導効果を測定する業界初の新機能を追加し、11月22日から開始すると発表した。

これまで、ネット広告の効果測定はサブミット(商品購入や資料請求などサイト上でユーザーのアクションとその数)効果が唯一の測定基準となっていた。オプトではサブミット前にユーザーをサイトに来訪させ、企業イメージの向上や商品内容の認識などにおいてサブミットに間接的に貢献するネット広告の誘導効果に着目し、新機能を開発した。

新機能には検索エンジンや検索キーワード、メール配信ごとの来訪効果を測定す

る機能もある。これによってアドプランを導入した企業は、ユーザーをサブミットさせた広告と、サブミットする直前に来訪させた広告について、ヤフーやグーグルなどの「掲載媒体」や、ショッピングやメールなど「サービスの種類」、「出稿期間」、「クリック数」、「サブミット単価」をリアルタイムに確認できるようになった。

利用するには、初期設定費用10万円のほかにクリック数や登録アドレス数に応じて従量課

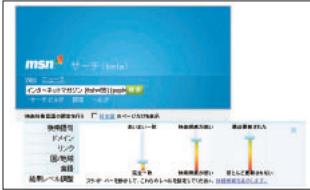
金制の月額利用料金(ADPLAN BASICでは月間クリック数0~10万で5万円など)がかかる。

項目	値	単位
クリック数	11,403	1,366
サブミット数	488	376
費用	2,656円	0.56%
売上	28,243円	0.34%
利益	366,943円	0.02%
ROI	75.64%	0.76%

ID	掲載媒体	サービス名	出稿期間	クリック数	サブミット数	費用	売上	利益
1	Yahoo!Japan	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	2,610	115	1,150	2,610	36
2	Yahoo!Japan	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1,370	47	1,370	1,370	47
3	Google	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	4,423	32	4,423	4,423	32
4	Excite	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1	1	3,567	1	60
5	OverLap	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1	1	4,268	1	128
6	DDN	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1	1	3,529	1	46
7	Yahoo!Japan	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1	1	2,045	1	88
8	Excite	メール	2004/07/01 - 2004/07/31	1	1	300	1	5

マイクロソフトがMSNサーチの新版を 公開 独自開発のエンジンで50億ページ以上から検索

マイクロソフトは、同社の検索サービス「MSNサーチ」の新しい検索エンジンを11月12日に 版として公開した。50億ページ以上のデータから検索でき、ニュースに限定した検索や、検索条件で「あいまい一致」、「検索頻度」、「更新頻度」などを調整する機能が特徴。米国版では自然文での検索や最寄りの施設の検索などが可能だが、日本版では今後対応の予定。



URL <http://beta.search.msn.co.jp/>

Bloggerが日本語インターフェイスに対応 ブログサービスの老舗がより身近に

グーグルは、同社が運営するブログASPサービス「Blogger」のインターフェイスを日本語を含めた多言語表示に対応させると発表した。これまでは日本語で記事を書くことは可能だが管理画面などは英語だった。すでにアカウント登録画面などは日本語化されており、今後は記事の投稿画面などの日本語化も進めるとしている。



URL <http://www.blogger.com/>

Yahoo!ジオシティーズが新サービス「ジオログ」を開始 Yahoo!アバター付きのブログを簡単に作成

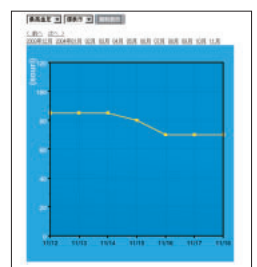
ヤフーが運営するホームページ作成サービス「Yahoo!ジオシティーズ」は、ブログ作成機能「ジオログ」の提供を10月28日から開始した。Yahoo!ジオシティーズのユーザーは無料で利用でき、簡単にブログを開始できる。HTMLタグが利用できるが、1記事あたり本文は全角1000文字まで。Yahoo!アバターを表示したり記事へのコメントを受け付けたりすることも可能。



URL <http://geocities.yahoo.co.jp/>

ブログからキーワードを抽出して自動で グラフを作成する「BLOG Meter」

テキストプレスは、RSSで取り込んだブログの文章から自動的にキーワードを抽出してグラフを作成するサービス「BLOG Meter」を11月10日より開始した。「ビール【xx】ml」のようにあらかじめ決めた書き方でブログに記述することで「xx」の数値をグラフ化できる。飲酒量やジョギング量といったグラフを自動で作ってブログに貼り付けられる。利用は無料。



URL <http://blogmeter.jp/>

「So-net blog」が11月15日に正式開始 ベータユーザーのデータも自動的に移行

So-netのブログサービス「So-net blog」が、11月15日より正式に開始した。このブログはSo-net会員向けに無料で提供されるサービスで、月額料金が無料の「こんでんつコース」の会員でも利用可能。

9月からベータテストを行っていたが、そこでの結果を反映した新しいシステムで開始した。これに伴ってベータサービスを一時停止し、データをすべて新しいシステムに移行する作業を行った。



URL <http://blog.so-net.ne.jp/blog/>

さくらインターネットがフレッツ接続サービスを開始 追加料金なしで固定IPアドレスを利用可能

さくらインターネットはフレッツADSLとBフレッツに対応したインターネット接続サービス「さくらのフレッツ接続」を10月27日に開始した。このサービスではフレッツをはじめAirHや@FreeD、ダイヤルアップの利用も可能だ。また固定IPアドレスも追加料金なしで利用できる(ただしモバイルやダイヤルアップでは動的IPとなる)。メールサービスは別途用契約が必要だ。

	フレッツ・ADSL プラン	Bフレッツ プラン
初期費用	1,000円	1,000円
月額料金	780円	980円
支払い方法	クレジットカード、自動口座振替、銀行振り込み、請求書払い	

URL <http://www.sakura.ne.jp/flets/>

レーベルゲートがOpenMGに対応した 音楽管理ソフト「SonicStage」を無償で配布

レーベルゲートは、デジタル音楽管理ソフト「SonicStage 2.3 for Mora」の無償配布を11月17日から始めた。音楽配信サービス「Mora」のサイトからダウンロード可能。OpenMG方式に加えて、MP3やWMA、WAV形式の楽曲も管理できる。新バージョンからは音楽CDの作成機能が追加され、ポータブル音楽プレーヤーへの楽曲転送回数が無制限になるなど、大幅に使い勝手が向上している。



URL http://mora.jp/help/download_ss.html

DVDをインターネット経由でダウンロードするサービス 「ひかりde DVD」がトライアルを開始

パワードコム、東芝、東京電力の3社は共同で運営するDVD映像配信サービス「ひかりde DVD」のトライアルを平成16年12月1日から開始する。著作権技術CPRMで保護されたDVDタイトルをFTTHを利用して家庭内のDVDレコーダーにダウンロードし、DVD-RAMに書き込んで視聴するサービスだ。モニターになるためにはTEPCOひかりユーザーで、サービス対応のHDD・DVDレコーダーを購入する必要がある。申し込みは12月12日まで。



URL <http://www.hikari-de-dvd.com/>

| 本 | 誌 | 10 | 周 | 年 | 特 | 別 | 読 | 者 | 参 | 加 | 企 | 画 |

「あなたのサイトを有名プロがお助けします」 当選者発表！

2004年11月号で募集いたしました「本誌10周年特別読者参加企画『あなたのサイトを有名プロがお助けします』」の当選者は、総応募数186通の中から編集部が厳正に審査した結果、右のとおり3サイトに決定いたしました。

多数のご応募ありがとうございました。

この3サイトに対して、それぞれのプロがどのようにアドバイスしたのかは、次号2005年2月号の誌面で掲載いたします。

お楽しみに！

篠原稔和さんがあなたのサイトの「ユーザビリティ」を指南します

当選者：川崎実知郎さん

サイト：株式会社 ウェブデモ

URL <http://www.webdemo.co.jp/>

渡辺隆広さんがあなたのサイトの「SEO」を手ほどきします

当選者：堀はるみさん

サイト：堀歯科医院

URL <http://www.hori-shika.com/>

長谷川恭久さんと森田雄さんがあなたのサイトを「デザイン」します

当選者：内田勉さん

サイト：メディアエンジン有限会社 Web Site

URL <http://www.mediaengine.co.jp/>

広告ページ

モバイル環境での使用も想定した集中管理機能が特徴

「F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ」 日本語版 Ver 5.70 を日本エフ・セキュアが発表

URL <http://www.f-secure.co.jp/>

日本エフ・セキュアは、集中管理、モバイル対応の統合型セキュリティソリューション「F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ」日本語版 Ver 5.70 を発表し、12月1日から出荷を開始する。

社内のウィンドウズPCを集中管理して煩雑な作業の手間を軽減

F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティは、ウィンドウズPCにウイルス対策、パーソナルファイアウォール、侵入検知、アプリケーション制御などのセキュリティ機能を提供するとともに、社内ネットワークの管理者がパソコンの設定を集中管理できる機能も提供する統合型セキュリティソリューションだ。

この集中管理機能は、無償提供される「F-Secure ポリシーマネージャ」を利用することで、ウィンドウズPCへのF-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティの一元的インストールや設定、監視が行えるというもの。ウィンドウズPCの設定をロックして、エンドユーザーがセキュリティ設定を変更できないようにすることも可能だ。また、セキュリティ警告やウイルス定義ファイルの日付けなどをレポートする機能もある。

モバイル環境にも対応する

ウイルス定義ファイルの自動更新

ウイルス対策機能は、電子メールやウェブ、CD-Rなどのメディアを介して感染するウイルスやワーム、スパイウェアなどを自動的にかつリアルタイムに駆除。電子メールにつ

いては、POP3、IMAP4、SMTPによる送受信トラフィックをチェックする。

ウイルス定義ファイルは、F-Secure ウィルス研究所から毎日1回から2回、社内ネットワークのサーバーに配信されるほか、ウイルス駆除ツールも同時に配信される。それをウィンドウズPCが1時間に1回自動的に参照して更新するため、新種のウイルスにも即座に対応できる。また、3つのスキャンエンジンを搭載し、最高レベルの検知率を実現する。

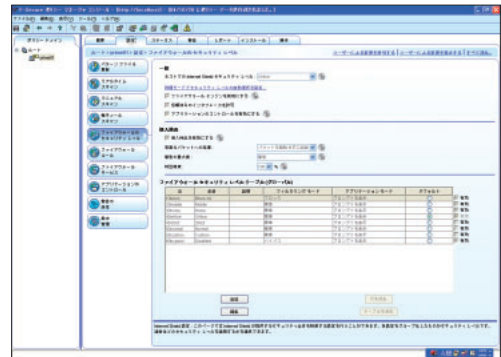
さらに、何らかの問題で外出先から社内ネットワークに接続できない場合には、F-Secure ウィルス研究所のサーバーなどの代替サーバーが自動的に引き継いでウイルス定義ファイルを更新するので、モバイル環境でも確実にウイルス対策が行える。

あらゆるセキュリティ面の不安をきめ細かく解決

パーソナルファイアウォール機能は、トラフィックのフィルタリングと監視が行えるもので、ネットワークからの不正アクセスを遮断し、ハッカーやネットワークワームからウィンドウズPCを保護できる。

侵入検知機能は、インターネットからのトラフィックを分析し、ポートスキャンやネットワークワームなどの疑わしいトラフィックを自動的に検知して遮断する。

アプリケーション制御機能は、ネットワー



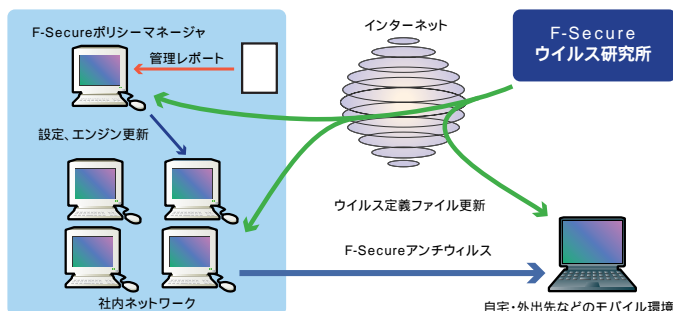
無償提供される集中管理機能「F-Secure ポリシーマネージャ」の「設定」や「レポート」「インストール」など、各機能がタブで切り替えられる。



「F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ」の画面。すべての機能が統一されたインターフェイスでまとめられており、わかりやすい。

ク管理者がウィンドウズPCからインターネットへ接続するアプリケーションを一元的に制御できるもの。これにより、エンドユーザーがピアツーピアアプリケーションなど、許可されていないソフトウェアを実行できなくなるので、社内ネットワークの安全性を保持できる。

また、インターネットに接続する場所によってセキュリティレベルの自動的に切り替える機能もあり、自宅やホテルなどモバイル環境から接続する場合には、より厳しい設定を適用することができる。



ライセンス価格一覧

ユーザー数	ライセンス単価 + 初年度保守単価	次年度以降 年間保守単価
1 ~ 24	9,200円	4,600円
25 ~ 49	7,500円	3,750円
50 ~ 99	5,200円	2,600円
100 ~ 249	3,800円	1,900円
250 ~ 499	2,800円	1,400円
500 ~ 999	2,200円	1,100円
1,000 ~ 2,499	2,000円	1,000円
2,500 ~ 4,999	1,600円	800円
5,000 ~ 9,999	1,300円	650円
10,000 ~ 24,999	1,100円	550円
25,000 ~	900円	450円
年間媒体送付 (オプション)		10,000円

全国ツアーのチケットプレゼントも実施中 OCN ミュージック ストアでMISIAの新曲 「Holy Hold Me」を独占先行配信中

2005年1月1日からスタートするMISIAの全国ツアー「OCN presents THE TOUR OF MISIA 2005」のチケットを、OCN会員限定で240組480名様に抽選でプレゼントキャンペーンを実施中。詳しくは<http://fun.ocn.ne.jp/misia/>にアクセスしてみよう。

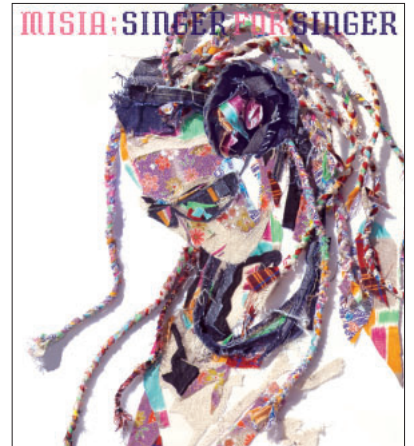
また、音楽配信サイトOCN ミュージックストアでは、MISIAの新曲「Holy Hold Me」を独占で先行配信している。この曲は12月8日(水)発売のMISIA夢のコラボレーションアルバム「SINGER FOR SINGER」の中の1曲で、作曲が久保田利伸、作詞がMISIAのクリスマスソング。ダウンロードは24時間いつでも可能だ。

OCN ミュージック ストアは、ファイルフォーマットにWMA(単曲)/WMD(複数曲)のパッケージまたはプレイリスト、スキンフ

ァイル同梱パッケージ)、著作権保護にDRMを採用した音楽配信サービス。1曲157.5円(税込)から、アルバム1,291.5円(税込)から購入でき、邦楽、洋楽など合わせて約5万の楽曲が用意されている。

ユーザーは購入した楽曲をウィンドウズメディアプレイヤー9以上がインストールされたウィンドウズPC(ウィンドウズ2000またはXP推奨)で聴くことができるほか、対応ポータブルプレイヤーに楽曲ファイルを転送して再生することも可能だ。

また、OCN ミュージック ストアでは、インターネットで安心・安全に楽曲を購入できる仕組みとして「OCN Pay ON(ペイオン)」という決済システムを導入。これは、購入した楽曲の料金をOCNの接続料金と一括で支払うことができるというもの。そのつど



<http://music-store.ocn.ne.jp/>

クレジットカード番号などを入力する必要がないため、オンライン決済に不安を感じるユーザーも、抵抗なく楽曲を購入できる。

2バイトコードの日本語迷惑メールに対応 ハイパーボックスとスリーアールソフトが ASPサービス「スパムブレイカー」で業務提携

ハイパーボックスとスリーアールソフトは、日本語など2バイトコード文字に対応する迷惑メール対策ツール「スパムブレイカー」をASPサービスとして提供することで業務提携した。スリーアールソフトは、スパムブレイカーを日本のほか、中国や韓国などアジア市場に広く提供しているが、ASPサービスとしての提供はハイパーボックスが国内初となる。

スパムブレイカーはスパムメール対策のほか、ウイルスメール対策や情報漏洩防止ツールとしても活用できるセキュリティソリューションで、日本語など2バイトコード文字に対応した検知技術を搭載しているのが特徴だ。これにより、日本語のスパムメールやフィッシングメールの対策に高い効果

を期待できる。このスパムブレイカーを低価格で利用できるようにしたのが、ハイパーボックスが提供する「スパムブレイカーASPサービス」だ。

ASPサービスでは、スパムメールのフィルタリングをハイパーボックスが管理するSMTPフィルターと、ユーザーが管理するメッセージフィルターによる2段階で行う。まず、SMTPフィルターでウイルス付きのメールが削除される。次に、メッセージフィルターではヘッダー、本文、添付ファイルに対して多彩なユーザー設定が行え、スパムメールを除去できるという仕組みだ。

なお、ウイルスパターン定義ファイルは自動的に最新版にアップデートされるので、新たなウイルスにも対応できる。

スパムブレイカー
完全遮断
簡単ブラウザ操作でフィルタ設定
悪質なスパムメール、ウイルスメールを
スパムブレイカー
導入後のメリット
スパムメール及びウイルスメールの検知と削除
悪質なスパムメール、ウイルスメールを
簡単ブラウザ操作でフィルタ設定
悪質なスパムメール、ウイルスメールを
スパムブレイカー
完全遮断
簡単ブラウザ操作でフィルタ設定
悪質なスパムメール、ウイルスメールを

<http://www.spambreaker.net/>

利用料金は初期費用が5,250円、月額1,575円だが、年内の申し込みに限り、初期費用無料などのキャンペーン料金を適用している。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp